

連合会だより 69号

226 団体
89,275 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 松元 洋

平成 28 年度町田市町内会・自治会連合会
市政懇談会が 11 月 15 日市役所で開催された。

町田市からは石阪市長はじめ各部署の部長及び担当部長などが出席。市の回答の要旨は次のとおり。

1 水害対策

境川では、都管理区間の護岸工事が降雨量 50 mm/h 対応までほぼ終了したが、神奈川県管理区間が 30 mm/h のままなので、川底が掘り下げられない。金森や境川クリーンセンターで調整池の計画を検討中、相原では遊水地の築造が進行中。また、鶴見川の都管理区間では下流から 50 mm/h 対応を進めている。現在凶師の宮川橋付近で工事進行中。今後も、両河川流域の関係協議会及び関係自治体などに対し対策推進を要請していく。今年度開始の雨水浸透設備補助制度の活用も願う。



2 防災対策

- ・防災情報の伝達について、市は防災無線やメール配信等によって市内をカバーしている。現在防災無線のデジタル化を進めている。防災ラジオの導入は考えていない。
- ・災害危険性の各家別通知については考えていない。土砂災害や洪水ハザードマップの危険個所表示を見て個々が判断し行動していただきたい。
- ・給水車は 1 台。トラックに乗せる水用タンクは、1 t が 7 基、2 t が 5 基ある。
- ・河川洪水災害時の避難行動については、現在の洪水ハザードマップを利用してもらいたい。より細かな水深等情報提供や行動指針作成は考えていない。
- ・都立学校は避難施設利用協定があり避難施設として利用可能。私立学校は避難広場として利用するための覚書はあるが、今後避難施設利用協定の締結を働きかけていく。

3 空き家の積極的な活用

空家の発生予防、適切な管理を促す所有者等への周知、利活用の促進に係る体制の整備等の基本方針を掲げる「町田市空家ゼロ計画」を策定した。現在周辺の住環境に深刻な影響を及ぼす恐れのある特定空家の指定基準づくりなどを進めている。



4 コンベンションホール

「文化・芸術のあるべき姿に向けた基本的な考え方」を今年度中にまとめる。単なるコンベンションホールではなく、文化・芸術ホールとしたい。目指すのは、規模は 2,000 人収容、立地は駅から近いこと。町田駅中心市街地の開発計画とセットで考えている。

第二部は市政全般に関し市長から話があった。

- ・仮称自主防災隊必携基本マニュアルを市と一緒に作ってはどうか。また、より細かな洪水ハザードマップなど地域それぞれに適したものを個別に作成してもよいのでは。
- ・ごみの資源化施設建設は、11月7日に仮契約をした。来年7月に現地工事に入る。施設建設費 292 億円、20年間運営委託費 170 億円、本契約案件 12 月議会に付議。移転する花の家は年内完成、来年 1 月開業。
- ・南町田駅前モールは来年 2 月 12 日営業終了、工事に入り、3 年後にオープン予定で、工事契約は東急電鉄。
- ・その他の大型工事は野津田公園の大型スクリーン設置 (5 億円) や小野路公園の照明設置 (1 基 1 億円 × 6 基、6 億円) など

各要望がそのまま受け入れられたとは言い難いが、提案型の要望及び質疑応答もあり有意義な意見交換会であった。(編集委員：守屋和夫)

元気で相原

○相原ふれあいフェスティバル2016

今年も大盛況

市内で最も西に位置している「相原町」は長い歴史と豊かな自然に恵まれた町です。また、郷土の詩人「八木重吉」のふるさとでもあります。

相原町には11の町会自治会があり、それぞれ無理のない範囲で活発に活動しております。また、相原連合町内会では毎月1回の定例会のほかいくつかの連合行事を行っておりますが、最大の行事は何と言っても今年で13回目を迎えた「相原ふれあいフェスティバル」です。以前は町会対抗方式の町民大運動会を開催していましたが、少子高齢化などにより参加選手を集めることが当時の各町会役員にとって毎年大きな負担となっていました。また、アキレス腱を切るなどの怪我がつづいたこともあり、運動会に代わるイベントはどのようなものが良いのか委員会を立ち上げ検討することになりました。その結果生まれたのが現在のフェスティバル。

①地域住民相互のふれあいを深める。②郷土を愛する心を育てる。③町の活性化を図る。の3点を目標に毎年試行錯誤を重ねながら発展させてきました。その準備は各町会から選ばれた実行委員が約1年をかけて行っております。会場は平成17年春にオープンした相原中央公園です。

準備には大変な時間と労力がかかっておりますが、屋外でのイベントであり、問題は前日準備と当日の天候です。10月8日土曜日は朝から小雨が降っていましたが役員協議の結果、実施することに決まり準備作業が始まりました。しかし、そのころから雨足が急に強まり、ラインひき等午前中の作業は降りしきる雨の中で行われました。幸いにも午後は雨も上がりテントの設営などの作業もなんとかできました。ところが翌日も朝から雨が降っており一時は開催も危ぶまれましたが、天も味方をしてくれたのか次第に雨足も弱まり、開会時には完全に上がりました。開会式には高橋町田市副市長をはじめ市議会議長、都議会、市議会の議員の皆さんからご祝辞をいただきました。その後ステージ上では地元の幼稚園や小・中学校、ダンスサーク

ルの皆さんによるダンスや和太鼓などの演技が次々と繰り広げられました。会場には地域の住民、事業所、大学生などによる模擬店やフリーマーケット、ザリガニ釣り、丸太切り、巣箱作りなど木工細工、キックターゲット、ノルディックウォーキングなどなど。また、パトカー、白バイ、消防車、自衛隊車両、水素カーの展示・乗車体験など大変盛りだくさんな内容で多くの住民の方々に喜んでいただきました。午後になると人出も急に増え、最終的にはほぼ例年通りの1万人近い人出となり大盛況でした。

行政に整備していただき、地元のNPO法人が管理するすばらしい公園で相原住民の力を結集して毎年行われている本イベントはまさに「相原の底力」の証であると思います。

「元気で相原」これからも相原地区の地域住民は行政と協働してより安心して住める町づくりを進めてまいります。ありがとうございました。

